※令和４年度以降入学生用

学校番号	217

令和８年度　地歴

教科	地歴	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	私たちの地理総合（山川出版社）／詳解現代地図（山川出版社）						
副教材等	図説地理資料　世界の諸地域 NOW2026　（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界的な事象だけでなく、身近な場所や町の社会的事象について、興味関心を高めて、地理的見方、考え方を働かせて、課題を探求して欲しい。その為に地図や資料を読み取ったり、ＧＩＳを使用して情報をまとめ、多角的な視点から課題を追及したり、解決する力を養いたい。日本と世界について広い視野に立って国際社会で活躍する資質や能力を伸ばすことを期待している。また、昨今の大災害に備えた防災意識の向上や、それに伴う行動にも繋げて欲しい。

２　学習の到達目標

・現代世界の地域的特色に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。（知識および技能の涵養）
・地理に関わる事象の意味や意義、特色や概念などを活用して、多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明する力を養う。（思考力・判断力・表現力などの涵養）
・地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して日本国民としての自覚、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。（学びに向かう力・態度の涵養）

※令和４年度以降入学生用

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	知識：地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取組などを理解する。 技能：地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	1章　地図とGISの活用 1節地理情報と地図	1,2　球面上での生活 3　世界地図でとらえる地球	a: ●地球を球面として捉え，球面上の位置・方位・距離について正しく認識し，季節・気候を生み出すことを理解している。 ●さまざまな図法で描かれた世界地図の特徴を理解している。 ●時差の仕組みを理解し，世界の２地点間の時差を求めることができる。 b: ●球体である地球上での位置・方位・距離を正しく読み取ることができる。 c: ●球体としての地球を把握し，さまざまな図法による世界地図の理解に向けて，作業などに意欲的に取り組もうとしている。 ●時差が日常生活や経済活動に与える影響を自ら調べようとしている。 ●地域や国家間の結びつき，日本の領域に関する諸問題について，興味・関心をもって授業に臨もうとしている。 ●世界の自然的国境や人為的国境を調べ，自ら白地図にまとめている。	・確認テスト ・定期考査 ・作図・読図課題 ・観察評価 ・提出物	・定期考査 ・作図・読図課題 ・観察評価 ・提出物	・観察評価 ・提出物 ・デジタル地図を活用した資料作成

※令和４年度以降入学生用

1	1章　2節　国家の領域と領土問題	1　国家の領域と海洋の役割 2　日本の位置と領土問題	a: ●国家の領域に関する知識を身につけ，海洋の役割，領土問題について理解している。 ●日本の位置と領域，領土問題について理解している。 b: ●日本の位置と領域について世界的視野から捉え，日本の領域をめぐる問題を考察し，まとめることができる。 C: ●地域や国家間の結びつき，日本の領域に関する諸問題について，興味・関心をもって授業に臨もうとしている。 ●世界の自然的国境や人為的国境を調べ，自ら白地図にまとめている。 ●海洋国家である日本のメリット・デメリットを整理し，日本の未来像について自ら考察し，発表しようとしている。	・確認テスト ・定期考査 ・作図・読図課題 ・観察評価 ・提出物	・定期考査 ・作図・読図課題 ・観察評価 ・提出物	・観察評価 ・提出物

※令和４年度以降入学生用

1	1章　3節　国内や国家間の結びつき	1　国家をこえた結びつき 2　観光による結びつき 3　交通･通信による結びつき 4　貿易･物流による結びつき	a: ●統計数値を用いて適切な主題図を作成することができる。 ●外国で暮らす日本人や歴史的背景を通して，日本と諸外国との関係を理解している。 ●世界の地域経済圏や国際連合に関する知識を身につけ，地球規模の地域的な結びつきについて理解している。 ●交通・通信・観光・貿易・物流を通した外国との結びつきの特徴や変化を捉え，日本と世界各国の結びつきを理解している。 b: ●複数の主題図を比較し，主題によって，表現方法が異なることを説明することができる。 ●国家間のつながりに影響する事象について目的別に整理し，さらに世界の地域経済圏や国際連合の視点から国際関係を整理・考察することができる。 ●外国に暮らす日本人や外国人観光客の実例を通して，社会への影響や今後の発展について分析・考察し，まとめようとしている。 ●交通や通信の発達による変化について分析し，国家間・地域間の格差について考察している。 c: ●国内や国家間のつながりに影響する事象について，自ら視点を設定して，多面的に考察しようとしている。 ●階級区分図などの統計地図を自ら課題を設定して作成し，多面的・多角的に考察しようとしている。 ●交通や通信の発達，観光政策，世界貿易に関する地球規模の課題について多面的・多角的に考察し，自分なりの意見をまとめようとしている。	･確認テスト ･定期考査 ･作図･読図課題 ･観察評価 ･提出物	･定期考査 ･作図･読図課題 ･観察評価 ･提出物	･観察評価 ･提出物

※令和４年度以降入学生用

1	1章 4節 日常生活の様々な地図	1 身の回りにあるさまざまな地図 2 地理情報システム(GIS)のしくみと使い方	a: ●さまざまな地図に関する基本的な知識を身につけ，日常生活における地図利用の有効性を理解し，活用することができる。 ●地図や地理情報システムなどを用いて，地理空間情報の役割や有用性について理解し，地図化することができる。 b: ●さまざまな地図や地理情報システムの特性を理解し，使用目的に応じて適切に表現している。 ●地理情報の電子化について学習し，紙の地形図と電子地形図の違いを考慮することができる。 c: ●身の回りのさまざまな地図に興味を持ち，積極的に活用しようとする。 ●地図や地球儀ソフトを用いた作業学習に積極的に取り組み，自ら課題を設定して完成させている。 ●地理情報の活用事例について，自ら調べることができる。	・確認テスト ・定期考査 ・作図・読図課題 ・観察評価 ・提出物	・定期考査 ・作図・読図課題 ・観察評価 ・提出物	・観察評価 ・提出物 ・パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

2	2章　生活文化の多様性と国際理解　1節　自然環境と生活文化	・1　地球上の地形のなりたち 2,3　山地と平野/海岸部の生活 4　地球上の気候のなりたち 5　暑い気候　アフリカ 6　乾燥した気候　サウジアラビア・モンゴル 7　季節の違い　大陸の西岸と東岸 8　寒冷な気候　シベリア	a: ●地形や気候のなりたちに関する知識を身につけ，それぞれの地理的事象について世界的な視野から読み取ることができる。 ●ケッペンの気候区分と植生分布の関連性を理解し，自然環境が人々の生活文化や産業，伝統の形成などに深く関わり，また諸要素が相互に関連しあっていることを理解している。 ●地形図から等高線や地図記号などの情報を読み取り，地形の特徴や土地利用を捉えることができる。 ●地形や気候などの特徴を，雨温図や主題図，写真などから読み取ることができる。 b: ●地形や気候のなりたちについて，プレートテクトニクスや大気大循環，海洋分布などと関連づけながら，その成因と分布の特徴を世界的視野から考察できる。 ●ケッペンの気候区分から各気候分布の規則性を捉え，生活文化との関連性を比較しながら共通点や相違点を考察し，整理して表現することができる。 ●地形を活かした人々の暮らしの特徴について写真や地形図などから捉え，地形と生活文化との関連を考察できる。 ●地形や気候などの自然環境と人々の生活文化の関係性について，雨温図や主題図，写真など複数の資料を関連させながら説明することができる。 c: ●世界の地形・気候のなりたちと生活文化・産業とのかかわりについて，興味・関心をもって授業に臨んでいる。 ●地形を活かした人々の暮らしの学習を通して，我が国の国土に関する諸課題を自分事として捉え，主体的に学ぼうとしている。 ●地形図や雨温図，主題図，写真，グラフ，統計資料などを理解するだけでなく，自ら表現することに意欲的に取り組んでいる。 ●雨温図の作図やフォトランゲージのパフォーマンス課題に積極的に取り組んでいる。	・確認テスト ・定期考査 ・作図・読図課題 ・観察評価 ・提出物	・定期考査 ・作図・読図課題 ・観察評価 ・提出物	・観察評価 ・提出物 ・パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

2	2章　2節　産業の発展と生活文化	・1　農業の地域性 2　農業　南アジア 3　工業の地域性 4,5　経済成長　中国 6,7　工業化　タイ・ベトナム	a： ●世界の産業の特徴を捉え，分布や変化を概観することができる。 ●アジア各地の事例地域の学習を通して主題図や写真，グラフなどの資料から経済活動の発展を読み取ることができる。 b： ●世界の産業の特徴を地域ごとに比較し，自然環境や生活文化との関連性を考察している。 ●アジア各地の事例地域の学習を通して，経済活動の発展とグローバル化を複数の資料から動態的に捉え，立地なども関連させながら多角的に考察し，まとめることができる。 c： ●身近な商品がグローバル化の進む産業構造の中に位置づけられることを捉え，産業と自分との関わりについて意欲的に探究しようとしている。 ●複雑化する世界規模の産業構造を捉えようと試み，複数の資料から主体的に考察し，発表している。	・確認テスト ・定期考査 ・作図・読図課題 ・観察評価 ・提出物	・定期考査 ・作図・読図課題 ・観察評価 ・提出物	・観察評価 ・提出物 ・パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

2	2章 3節 言語・宗教と生活文化	・1　世界の言語 2 世界の宗教 3 仏教圏の生活文化 4 キリスト教圏の生活文化 5,6 イスラーム圏の生活文化 7 世界の多民族・多文化社会 8 社会の形成 ラテンアメリカ 9 多文化社会 オーストラリア	a: ●世界の言語・宗教の特徴を理解し，生活文化との関係を読み取ることができる。 ●世界の言語や宗教，民族に関わる現代社会の諸課題の背景や現状を概観することができる。 ●現代世界における言語・宗教の変容について，主題図や写真などの資料から読み取ることができる。 ●世界の多様性と日本とのつながりを考え，異文化を尊重する態度が重要であることを理解できる。 b: ●世界の言語・宗教の空間的な分布とその要因を考察し，自然環境や歴史的背景と関連させて考察している。 ●世界の言語や宗教，民族に関わる現代世界の諸課題がおこっている複雑な背景を構造的に認識することができる。 ●現代世界における言語・宗教について，グローバル化や情報化によって変容している部分と変容していない部分を比較している。 ●多文化共生社会に向けた事例について整理・考察し，まとめている。 c: ●世界の言語・宗教の多様性と生活文化の関わりについて，興味・関心をもって積極的に調べようとしている。 ●世界の言語や宗教，民族に関わる現代世界の諸課題について，日本との関わりも考えながら主体的に捉えている。 ●教科書以外のさまざまな資料も用いながら，主体的に世界の言語や宗教について，主体的に理解を深めようとしている。 ●多文化共生社会の実現方法について議論し，自分の意見をまとめている。	・確認テスト ・定期考査 ・作図・読図課題 ・観察評価 ・提出物	・定期考査 ・作図・読図課題 ・観察評価 ・提出物	・観察評価 ・提出物 ・パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

2	2章　4節　グローバル化の進展と生活文化	・1～3　地域統合　EU 4～6　グローバル化　アメリカ	a: ●EU 統合の背景と産業や生活文化への影響，統合によって生じている経済格差や移民問題などの諸課題を理解している。 ●アメリカ建国時から多様性を育んできた地理的環境・歴史的背景を理解している。 ●地域統合やグローバル化による成長と課題，生活文化の変容について，主題図や写真などの資料から読み取ることができる。 b: ●ヨーロッパ各国の国家としてのあり方の変容，EU と日本のつながりからグローバル化の功罪について考察している。 ●グローバル社会で世界をリードする産業の発展と企業の国際化の過程を捉え，アメリカの変容，日本とのつながりについて考察し，まとめている。 ●地域統合やグローバル化について，主題図や写真などの複数の資料を関連させて多面的に考察している。 c: ●EU やアメリカの事例を通して，地域統合やグローバル化の課題について主体的に考察しようとしている。 ●グローバル化が自分の生活と繋がっていることを踏まえて，グローバル社会に対する自分なりの意見をもとうとしている。 ●地域統合やグローバル化に関するさまざまな資料を自ら収集・整理し，多面的に考察している。	・確認テスト ・定期考査 ・作図・読図課題 ・観察評価 ・提出物	・定期考査 ・作図・読図課題 ・観察評価 ・提出物	・観察評価 ・提出物 ・パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

2	3章　地球的課題と国際協力　1節　人口・食料問題	1　世界の人口問題 2　人口増加　中国とインド 3　人口停滞　スウェーデンと日本 4　世界の食料問題 5　人口増加と食料問題　アフリカ	a: ●世界人口の急増によって生じる問題を世界的視野から理解できる。 ●人口急増国だけでなく人口停滞国の事例を通して，各国の人口政策や諸問題について理解できる。 ●人口ピラミッドや主題図などの資料から問題の所在を読み取ることができる。 ●持続可能な発展のために，飢餓や飢饉などの食糧問題と人口問題を関連させて理解できる。 b: ●世界の人口問題の特徴や分布を，人口ピラミッドや主題図などの資料から比較・分類しながら整理し，考察できる。 ●人口問題を気候変動やモノカルチャー経済などの社会的・自然的背景と関連させながら構造的に捉え，グローバル・ローカルな視点から解決方法を構想できる。 ●飢餓や飢饉がある一方，食品ロスなどの飽食も存在している問題を構造的に捉え，SDGs の目標ふまえて世界的視野から対策を考察することができる。 ●世界各国の人口政策から日本を相対化し，日本の将来像を構想し，発表できる。 c: ●人口に関わる世界の諸問題について，その背景や構造を捉え，主体的に考察できる。 ●人口に関する各資料から考察するだけなく，自然的・社会的背景につながる資料も関連させながら意欲的に分析を進めようとしている。 ●食料問題が世界規模でつながる地球的課題であることを捉え，国際社会の一員として具体的に行動に写そうとしている。 ●未来を担う日本国民としての自覚を持ち，日本の将来像について意欲的に取り組もうとしている。	・確認テスト ・定期考査 ・作図・読図課題 ・観察評価 ・提出物	・定期考査 ・作図・読図課題 ・観察評価 ・提出物	・観察評価 ・提出物 ・パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

2	3章 2節 居住・都市問題	・1 世界の居住・都市問題 2 大都市 ロンドン・ニューヨーク 3 密集都市 メキシコシティ・ジャカルタ	a: ●都市に人口が集中する要因を主題図や統計資料から読み取るとともに，人口集中による都市問題について理解できる。 ●途上国と先進国では異なる都市問題が発生していることを，主題図や写真などから判読できる。 ●都市問題を解決するための都市政策や科学技術の事例を調べ，整理できる。 b: ●農村部から都市への人口移動を主題図や統計資料から捉え，地域レベルから世界レベルまで，さまざまなスケールで考察できる。 ●途上国と先進国それぞれの都市問題について，その構造的要因を考察できる。 ●都市問題を解決するための都市政策や科学技術の事例をふまえ，具体的な都市を挙げ，主題図や統計などから多面的な解決の方策を構想できる。 c: ●人口移動による都市の人口過密がさまざまな課題と結びついていることを理解し，自らの視点を大切にしながら主体的に考察できる。 ●都市問題に関する資料を自ら収集・整理し，問いを立てながら意欲的に考察しようとしている。 ●途上国や先進国の都市問題を事例として挙げて，先進的な都市政策を参考にしながら，主体的に課題解決策を構想している。	・確認テスト ・定期考査 ・作図・読図課題 ・観察評価 ・提出物	・定期考査 ・作図・読図課題 ・観察評価 ・提出物	・観察評価 ・提出物 ・パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

2	3章 3節 資源・エネルギー問題	・1 世界の資源・エネルギー 2 エネルギー資源の生産・消費と課題 3 再生可能なエネルギーへの移行 4 鉱産資源 ロシア・オーストラリア・日本	a: ●エネルギー資源の変化を世界的な視野から概観し，主題図や統計資料をもとに，鉱産資源の偏在性，有限性，消費における地域格差などの諸課題を読み取ることができる。 ●エネルギー資源の持続可能な利活用と安定供給を実現するために，再生可能エネルギーや省エネルギー技術，鉱産資源のリサイクルについて理解できる。 b: ●鉱産資源とエネルギー資源の分布と将来的な需要について，主題図や統計資料などをもとに予測し，世界的な視野から国際協力や技術開発を推進する必要性について考察できる。 ●エネルギー資源の持続可能な利活用と安定供給を実現するため，化石燃料や再生可能エネルギーのメリットやデメリットを比較し，考察できる。 c: ●エネルギー資源の問題が，自然環境・政治・経済・国際関係などと幅広く関連していることを理解し，世界的な視野から SDGs を達成するために主体的に考察しようとしている。 ●日常生活でエネルギー資源を利用していることを自覚し，化石燃料や再生可能エネルギー，リサイクル，技術開発などについて意欲的に調査・考察し，エネルギーの在り方について自分なりの意見を持つことができる。	・確認テスト ・定期考査 ・作図・読図課題 ・観察評価 ・提出物	・定期考査 ・作図・読図課題 ・観察評価 ・提出物	・観察評価 ・提出物 ・パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

3	3章 4節 地球環境問題	1 地球温暖化の現状と将来 2 熱帯林の減少 アマゾン・東南アジア 3 砂漠化の進行 アラル海	a: ●地球温暖化・熱帯林減少・砂漠化など，地球規模でおこっている環境問題のしくみを構造的に理解できる。 ●地球規模でおこる環境問題について，写真や主題図などから判読し，フローチャート図を用いて整理できる。 b: ●地球環境を守り持続可能な発展を実現するために，国際的な協力体制が必要なだけでなく，その背後にある政治・経済的な課題解決も求められることを考察している。 ●環境問題と自分自身とのつながりを意識し，SDGs の因果関係も捉えながら具体的な取り組みを構想しようとしている。 c: ●地球規模の環境問題の構造や原因の理解とともに，地球市民の一人として，それらの問題が人々の生活に与える影響について意欲的に学び，自分のできることを探究しようとしている。 ●環境問題に関する資料を書籍や国際機関のウェブサイトなどから主体的に収集し，具体的な取り組みを構想し，実際に行動に移そうとしている。	・確認テスト ・定期考査 ・作図・読図課題 ・観察評価 ・提出物	・定期考査 ・作図・読図課題 ・観察評価 ・提出物	・観察評価 ・提出物 ・パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

3	4章　生活圏の諸課題　1節　自然環境と防災	・1　日本の地形・気候と生活 2～4　風水害/火山/地震・津波と防災 5　都市型災害と防災 6　防災・減災への心構え	a: ●日本列島の地形や気候の成り立ちと多様性について，主題図やグラフ，写真などの資料から理解できる。 ●日本列島では自然による恩恵だけでなく，風水害，火山，地震・津波，都市型災害などが発生することを捉えることができる。 ●自分の生活圏における防災や減災の取り組みについて，新旧地形図やハザードマップなどを読み取る技能を身につけている。 b: ●日本列島における自然災害の要因と特徴，地域性を考察し，課題の所在について考察できる。 ●世界の災害を日本と比較しながら捉え，人口密度や社会的基盤の脆弱性などの社会環境によっても，被害が大きくなることを考察できる。 ●自らの生活圏の防災や減災について，新旧地形図やハザードマップ,GIS などを活用しながら考察し，具体的な課題と避難行動を構想することができる。 c: ●日本の自然環境と災害の特徴とつながりについて当事者として関心をもち，防災意識を高めることができる。 ●新旧地形図やハザードマップ，GIS などを活用し,自然災害について自然的・歴史的・社会的背景から，多面的に考察することに意欲的に取り組んでいる。 ●自らの生活圏で災害が発生すると想定し，自助・共助・公助の観点から地域住民としての自覚をもって，主体的に避難行動を構想している。	・確認テスト ・定期考査 ・作図・読図課題 ・観察評価 ・提出物	・定期考査 ・作図・読図課題 ・観察評価 ・提出物	・観察評価 ・提出物 ・パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

3	4章　2節　持続可能な地域づくり	・1　地域調査の実施手順と方法 2～4　地域調査	a: ●生活圏の課題を解決するための手法としての地域調査を実施し，身近な地域の魅力やかかえている課題を発見している。 ●地域調査の一連の手順を理解し，景観観察やアンケート・聞き取り調査など，さまざまな調査方法を活用できる。 ●調査結果や統計ツール，新旧地形図やデジタル地図，各種資料などを活用して，地域の特徴を主題図やグラフなどで表現する技能を身につけている。 b: ●事前調査や現地調査で明らかになった地域の魅力や課題を踏まえ，地域のあり方を分析・考察し，身近な地域の将来像を構想できる。 ●プレゼンテーションソフトなどを用いて，地域の課題解決のための構想案を工夫して発表している。 ●調査結果や統計ツール，新旧地形図やデジタル地図，各種資料などによって得られた結果を，多角的な視点から主題図やグラフにまとめ，考察している。 c: ●身近な地域にさまざまな魅力や課題があることを見い出し，意欲的に地域調査に取り組んでいる。 ●身近な地域の将来構想案を検証するために，現地調査や資料による事後調査を主体的に行い，探究することができる。 ●与えられた資料だけでなく，主体的かつ目的意識をもって資料やデータを収集し，考察しようと試みている。	・確認テスト ・定期考査 ・作図・読図課題 ・観察評価 ・提出物	・定期考査 ・作図・読図課題 ・観察評価 ・提出物	・観察評価 ・提出物 ・パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度